



# ふれあい119

## 凧として!! 西和賀町消防出初式挙行!!



### 無火災の町 笑顔のまち かたくりの郷里

「火災ゼロ」を目指して



西和賀消防署  
署長  
高橋 修

一月十日、西和賀町消防出初式が、水墨画のような雪風景の中で行われました。ただひたすら、「地域のため、住民のため」という西和賀町消防団の崇高な奉仕の精神を披露したのです。

西和賀町は、南北約五〇キロメートル、東西約二〇キロメートル、面積は約五九〇平方キロメートルと北上市よりも広い。その七割が林野であるがゆえ、入山者の行方不明も年に数件発生します。火災や救急出動は西和賀消防署から現場到着まで三〇分以上を要する地域もあり、地域防災の中核として消防団はなくてはならない存在です。

火災や地震等の自然災害に、迅速かつ的確に対応することはもとよりですが、「火災ゼロ」は、西和賀町の悲願であります。町民の皆様にも自助努力をお願いしながら、消防団と常備消防とが強い信頼の下、今まで以上に一致団結して活動することこそが悲願達成に繋がるものと考えます。皆様には一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

春季全国火災予防運動

3月7日(月)～3月17日(日)

消えるまで ゆっくり火の元 にくめっす

(平成27年度防火標語)

## 東北DMAT隊と合同訓練実施

平成二十一年十月三日（土）、県立中部病院敷地内で東北各県及び新潟県のDMAT隊（災害派遣医療チーム）と、関係機関・団体、総勢約二〇〇人が参加し、合同連携訓練を実施しました。

訓練は、三陸沖地震による大規模な広域災害を想定して行われました。

倒壊家屋に取り残された被災者を、DMAT隊と救助隊・関係機関などが協力し、円滑な救助活動から医療行為、患者搬送までを実践し災害時における現場での連携を確認しました。

岩手県での訓練開催は初めてであり大変有意義な訓練となりました。



## 地震に備えて 防災対策を していますか

平成二十年の岩手・宮城内陸地震からもうすぐ二年になります。近い将来に起きると言われる大地震への備えは大丈夫ですか。

三日分の水と食料、医療品、非常用持ち出し品の準備、家具の転倒防止等は出来ていますか。

屋外のLPガスや灯油タンクの転倒防止、防油堤の設置も重要です。

ボンベやタンクが地震により転倒することで被害の拡大が予想されます。

今一度確認し、我が家の防災対策をお願いします。



LPG ボンベの転倒



ホームタンクの転倒

## 応急手当を覚えよう

大切な命を救うために：

平成二十一年中の北上地区管内の救急出場件数は、二七七〇件で一日平均約八件、住民の36人に一人が利用したことになり、救急車が現場に到着するまでの平均時間は約七分でした。

毎年約一〇〇人の方が心肺停止状態（呼吸も心臓も止まった状態）で病院へ搬送されています。

大切な人が倒れた時、救急車が到着するまでの間あなたは心肺蘇生法を行うことができますか。

心肺蘇生法の目的は、血液を循環させて脳に酸素を送ることで、心臓が止まった状態では脳は約三分間しか生きられません。

後遺症を残さないためにも心肺蘇生法が必要です。



胸骨圧迫

人工呼吸



AEDで電気ショックを：



AED（電気ショック）

AEDは誰でも簡単に操作することができ、安全な医療機器です。適切に使用すれば、心臓がケイレンして血液を送り出せない危険な状態を、電気ショックで回復することが出来ます。

設置台数（北上地区消防組合ホームページに掲載）も増加しています。

AEDは、心肺蘇生法を行わなければならない重要なことです。

北上地区消防組合では、心肺蘇生法とAEDの使用法を中心にした救命講習（受講は無料）を行っています。

いざという時、あなたの手で大切な人の命を救うために救命講習を受講しましょう。

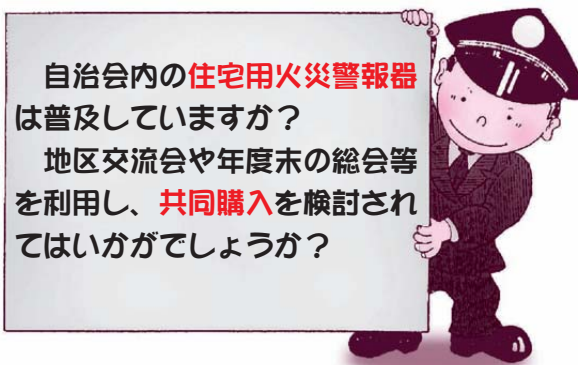
■お問い合わせ  
 警防課救急係 ☎ 65-5176



Q なぜ**住宅用火災警報器**が必要なの？

A 火災による死者は、就寝時間帯の夜10時から翌朝5時に多く、死者の六割が逃げ遅れとなっています。

**住宅用火災警報器**は、被害を軽減させる、火災の発生をいち早く知る、知らせるため必要なのです。



北上地区管内のガス保安協会、電機商業組合、電気工事業組合で取扱いしています。**チラシの裏面に取引店名が記載**されていますので最寄りの店舗へご相談ください。購入から設置まで対応していただけます。



平成21年中の組合管内（北上市、西和賀町）で発生した火災は37件で、前年（53件）に比べ16件減少しましたが、火災による死者は、6人と前年（3人）より3人の増加となっています。

■お問い合わせ 予防課指導係  
☎ 65-5173

## 夏油高原スキー場 Gondola 事故対応訓練



観光地での Gondola の事故は毎年のように全国で起き、平成19年度における Gondola 事故は30件発生しています。このような事故が発生した場合に対応できるように、全国的に Gondola からの救出訓練が実施されています。

平成21年12月11日に夏油高原スキー場の従業員が主体となり、北上消防署員も参加し合同訓練を実施しました。訓練の内容は、停電や機械トラブルにより Gondola が停止し、中に取り残された人が居るとの想定のもと、専用の救助器具を使用して救助するものです。手順の再確認や連携の仕方など有意義な訓練でした。

夏油高原スキー場は山間部にあるため、冬期間になると道路状況も悪く、スキー場から収容先病院まで長時間を要します。重症な患者さんや緊急を要する患者さんの場合、1秒でも早く病院に搬送するために防災ヘリコプターに応援を要請することもあります。

これからも私たち職員は、安全で迅速な活動を目指したいと考えております。スキーやスノーボードをするみなさんも事故のないように楽しく滑っていただければ…。



# 新消防職員の紹介

平成21年4月1日に採用された6名の消防士は、岩手県消防学校で6ヶ月間の教育訓練を修了し、消防士1年生として現場で活動しています。

小原 明浩 (23)  
(北上市鬼柳町)



消防署で働き始めて3ヶ月が経ちましたが、まだまだ出来ない事だらけで毎日勉強です。しかし、現場では新人も先輩と同じ事をしなければなりません。新人という甘えを捨て、住民の皆さんのために力を尽くせる消防士になりたいです。

小田島 健介 (22)  
(北上市二子町)



現場に出動するたび、もっと頑張らなければと痛感させられます。貴重な勤務時間を大事に使いたい。少しでも理想とする消防像に近づけるよう努力していきます。

高橋 佑太 (20)  
(北上市上野町)



昨年10月から現場に戻って、1日でも早く一人前の消防士になれるよう日々訓練に励んでいます。現場では非日常的な事が数多くあり、困惑する事もありますが、地域の安全・安心のために常に向上心を持ち続け頑張りたいと思います。

地主 俊和 (19)  
(北上市上野町)



先輩方の指導により、とても充実した日々を送っています。地域の方々との交流も大切にし、住民を守るということを第一に考え勤務していきたいと思っています。

藤原 裕司 (18)  
(西和賀町左草)



消防士を目指したのは、人のためにやるべきことがある職に就きたいと思っていたからです。職場での訓練で沢山の技術を身に付けて、一人前の消防士を目指しています。また、社会人として、マナーのしっかりとした人間に成長したいです。

高橋 直樹 (19)  
(西和賀町左草)



高校卒業とともに入社し、大変な事や辛い事もあります。その事に負けず、自分の出来る事をし、一人でも多くの命を救えたいと思います。

## 119番通報 「家族が餅を喉に詰まらせた！」あなたはどうしますか？

去年の暮れ、「お年寄りが餅を喉に詰まらせた」との通報が一日に三件ありました。この時期には珍しくない話ですが、実際、目の前で家族が餅を詰まらせ苦しんでいる姿を見ると大慌てしてしまうようです。今回は、三件とも通報内容から指令室職員が窒息状態と判断し、通報者に対し、餅を吐き出させるための指導(背中を強く叩く事、お腹を押す事、掃除機を使い餅を吸い取る事)を行い、救急車が着く前に、家族の処置により餅を吐かせる事に成功し、命を救うことができました。

いくら餅を詰まらせ苦しんでいるとはいえ、苦しんでいる人の背中を強く叩いたり、掃除機を口の中に入れてという行為は非常に勇気がいる行動だと思います。しかし、家族が指令室員の指導を冷静に聞き、それをすぐに実行した事が救命に繋がりました。救急車の到着をただ待つのではなく、周りにいる人が何らかの処置を行う事により「救急隊員でなくても人の命を救うことができる」というすばらしい実例として紹介します。

### \*お知らせ (火災防御訓練の実施)

3月7日(日) 午前7時から北上市黒岩地区で火災防御訓練が実施されます。春は空気が乾燥して、火災の発生しやすい季節です。恐ろしい火災から家族の生命を守り、また大切な財産を失わないために、火の取り扱いには十分注意しましょう。

### 住宅防火のいちを守る 7つのポイント

#### 1-3つの習慣・4つの対策

- 3つの習慣
  - 寝たばこは、絶対やめる。
  - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - ガスここんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4つの対策
  - 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
  - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力的体制**をつくる。

平成二十二年二月二十五日 発行・北上地区消防組合  
編集・消防本部広報編集委員会  
電話 〇二四一〇〇八三 岩手県北上市柳原町二丁目三番六号  
災害情報案内 〇一九七六四一一二二  
〇一九七六五五一一九